

# 水道の概要

水道の水が届くまで

皆さまのご家庭に、安心して飲めるきれいな水をお届けするためには、様々な過程が必要です。

取水場で河川の水をとりこみ、浄水場で水道水を作ります。水道水は送水管で配水池に運ばれ、配水管、給水管を経て、皆さまのご家庭の蛇口にたどり着きます。



# 水源

札幌の水を確保します

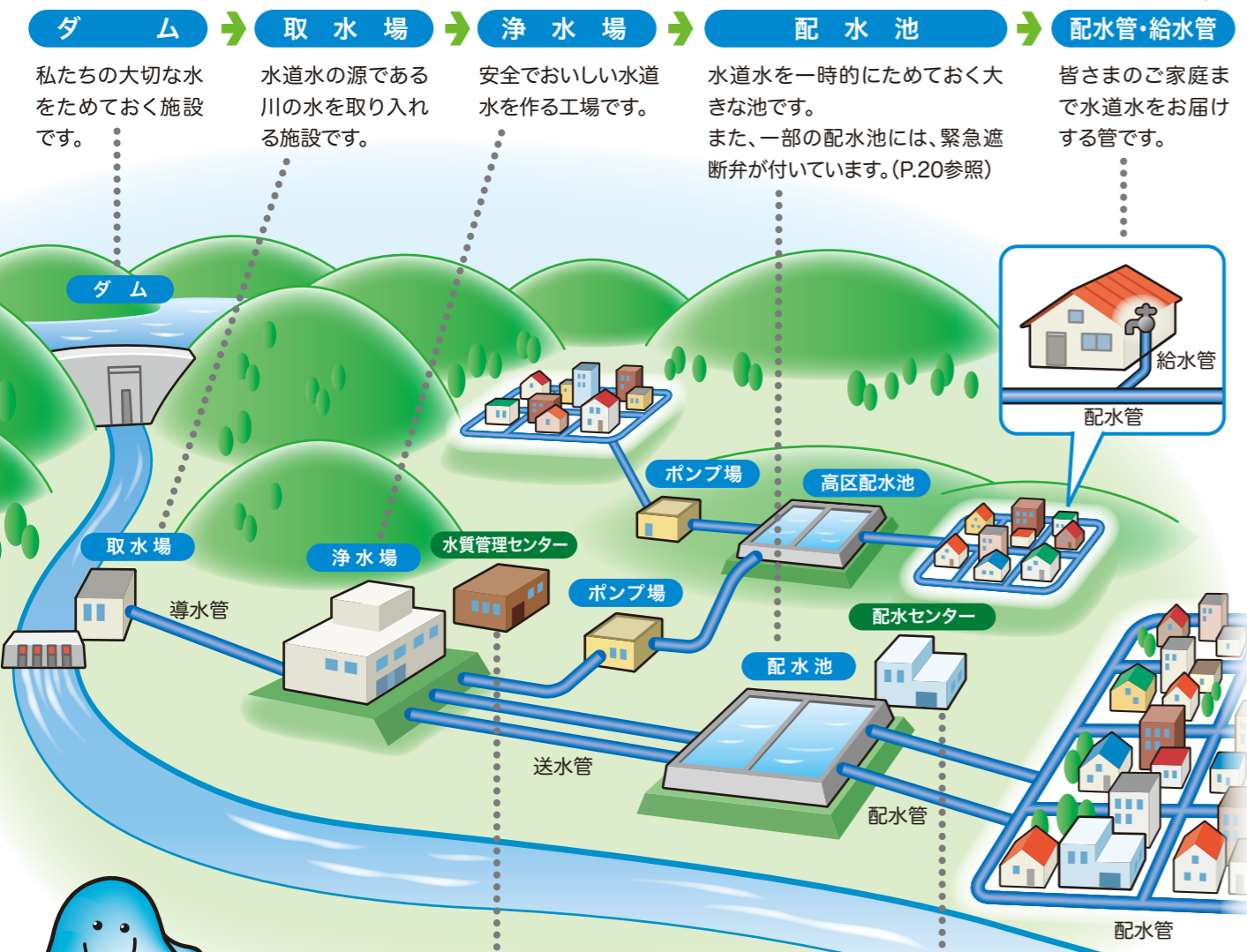
都市生活を支える水。その水源の確保は水道水の安定供給のために最も大切なことです。つまり、札幌市にとって、水源の確保は最も重要な施策の1つです。

そこで、いち早くダム建設に着手し、豊平峡ダムと定山溪ダムという2つの大きな水源を確保することができました。どちらも緑豊かな支笏洞爺国立公園や国有林野に囲まれ、周辺の美しい自然が大切な水を汚染から守ってくれています。

さらに、冬季間における多量の降雪が融雪水となってダムに蓄えられることもあり、量・質ともに恵まれている環境であるため、札幌市では今まで1度も水不足になったことがありません。



## 水が届くまで



**水質管理センター**  
水源から蛇口までの水質を監視・検査する施設です。

**配水センター**  
水道水の流れる量を調整・監視する施設です。

### 豊平峡ダム



豊平川上流に建設された豊平峡ダムは、水道用水の供給のほか、洪水調節や水力発電にも利用する多目的ダムとして、5年の歳月をかけ、昭和47(1972)年に完成しました。

このダムは、アーチ式コンクリートダムとして道内最大のもので、これにより、札幌市は新たに1日当たり52万8,000m<sup>3</sup>(夏期)の水源を確保することになりました。

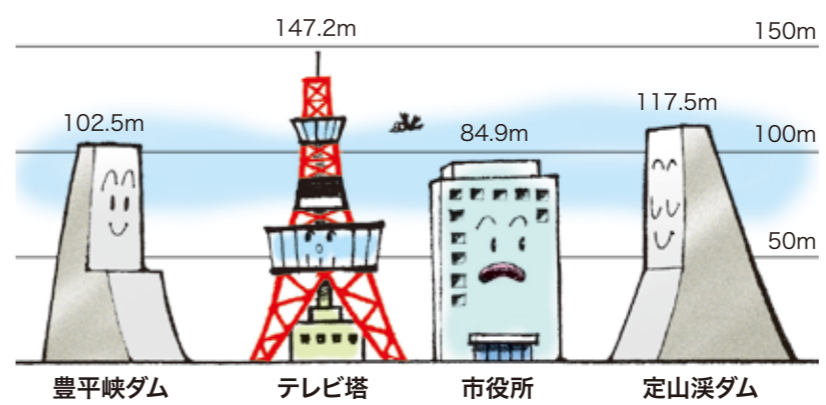
### 定山溪ダム



豊平川水系の小樽内川に建設された定山溪ダムは、豊平峡ダムと同じく、洪水調節、発電、水道用水の確保を目的とした多目的ダムで、本市第2の水がめとして、11年の歳月をかけ、平成元(1989)年に完成しました。

このダムは重力式コンクリートダムで、これにより、新たに1日当たり32万m<sup>3</sup>(夏期)の水源が確保されました。

### ダムの高さ比べ



### ダム比較表

名称	豊平峡ダム	定山溪ダム
河川名	豊平川	小樽内川
形式	アーチ	重力
ダムの規模	堤高	102.5m
	堤長	305.0m
	堤体積	285,000m <sup>3</sup>
総貯水量	47,100,000m <sup>3</sup>	82,300,000m <sup>3</sup>
ダム使用権(夏期)	528,000m <sup>3</sup> /日	320,000m <sup>3</sup> /日